

・深夜勤務（時間外勤務）制限請求書（様式Ⅲ－６）【記入例】

深夜勤務（時間外勤務）制限請求書

平成〇年9月20日

〇〇〇立〇〇〇学校長 様

職 〇〇 氏名 若 松 一 郎
(記名押印又は署名)

下記のとおり養育（介護）のため深夜勤務（時間外勤務）の制限を請求します。

1 請求に係る 制限の区分	目的	① 養育 2 介護	
	勤務	1 深夜勤務 (条例第8条の5第1項) ② 3歳未満の子に係る時間外勤務 (条例第8条の5第2項) 3 小学校就学の始期に達するまでの子又は要介護者に係る時間外勤務 (条例第8条の5第3項)	
2 請求に係る 子又は要介護 者	氏名（続柄）	若 松 あおい (長女)	
	生年月日	平成〇年11月15日	
	養子縁組の効力が生じた日		
3 職員の配偶者で請求に係る子の親である者の有無	① 有 2 無		
4 要介護者の状態及び具体的な介護の内容			
5 請求の期間	深夜勤務 の制限	年 月 日から	毎日
	時間外勤務 の制限	〇年 10月 1日から	その他 ()
備考	① 1年 ・ 1年に満たない期間 () 月		

備考

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とすること。
- 2 1及び3の欄については、該当するものを○で囲むこと。
- 3 「生年月日」欄は、子を養育するための請求の場合のみ記入すること。なお、請求に係る子が請求の際に出生していない場合には、「生年月日」欄に出産予定日を記入すること。
- 4 「養子縁組の効力が生じた日」欄は、子を養育するための請求の場合のみ記入すること。
- 5 「職員の配偶者で請求に係る子の親である者の有無」欄は、子を養育するための請求の場合のみ記入すること。
- 6 「要介護者の状態及び具体的な介護の状況」欄は、要介護者を介護するための請求の場合のみ記入すること。
- 7 子を養育するために深夜勤務又は3歳未満の子に係る時間外勤務の制限をを請求する場合には、当該請求に係る子がそれぞれ満6歳又は満3歳達する日以後の最初の3月31日以前の日を当該制限の終了の日として請求すること。

・深夜勤務（時間外勤務）制限請求書に関する通知書（様式Ⅲ－７）【記入例】

深夜勤務（時間外勤務）制限に関する通知書

平成〇年九月24日

若 松 一 郎 様

〇〇〇立〇〇〇学校長 〇〇 〇〇



〇年九月20日付けで深夜勤務（時間外勤務）制限請求のありましたこのことについては、下記のとおりです。

記

- 1 請求に係る子（要介護者）の氏名 若 松 あおい
- 2 請求に係る子（要介護者）の続柄 長 女
- 3 請求期間
 - (1) 深夜勤務の制限
年 月 日から
年 月 日まで [毎日]
 その他（ ）
 - (2) 時間外勤務の制限
〇年 10月1日から
1年・ 1年に満たない期間（ ）月
- 4 深夜勤務の制限について
 - (1) 公務の正常な運営に支障がないため、請求のとおり深夜勤務を制限します。
 - (2) 公務の正常な運営に支障があるため、以下の期間については、深夜勤務を制限できません。
[公務の正常な運営に支障がある期間（月、時間帯）及び理由等]
- 5 時間外勤務の制限について
 - (1) 請求者（職員）の業務を処理するための措置について
 - ① 措置を講じることが著しく困難ではないため、請求のとおり時間外勤務を制限します。
 - ② 措置を講じることが著しく困難であるため、時間外勤務を制限できません。
[理由等]
 - (2) 規則第7条の6第4項の規定に基づく変更後の時間外勤務制限開始日
年 月 日
[理由等]

備考 「4」及び「5の(1)」については、該当する番号を○で囲み、必要事項を記載すること。

・ 育児又は介護の状況変更届（様式Ⅲ－８）【記入例】

育児又は介護の状況変更届

平成〇年〇月〇日

〇〇〇立〇〇〇学校長 様

職 〇〇 氏名 若 松 一 郎
(記名押印又は署名)

下記のとおり早出遅出勤務又は深夜勤務（時間外勤務）制限に関する子の養育又は要介護者の介護の状況について変更が生じたので届け出ます。

記

1 届出の事由（該当する項目を○で囲むこと。）

(1) 養育の状況の変更

ア 子が死亡した

イ 職員の子でなくなった ((ア) 離縁 (イ) 養子縁組の取消)

ウ 同居しなくなった

エ 職員の配偶者で子の親が深夜において常態として当該子を養育できることとなった。

(2) 介護の状況の変更

ア 要介護者が死亡した

イ 要介護者と職員との親族関係が消滅した

(消滅の理由：)

2 届出の事実が発生した日

〇年 〇月 〇日